



コミュニティだより



発行者：新津中央コミュニティ協議会（新潟市秋葉区新津本町1-2-39 TEL 0250-24-4219 Fax 0250-24-4229） 発行人：太田清志

特

集





～秋葉区地区懇談会報告～






- ◆ 平成24年7月18日(水)の午後2時30分から、新津地域交流センターにおいて、新津中央コミュニティ協議会と秋葉区役所との地区懇談会が開催されました。この地区懇談会は秋葉区役所が年1回、秋葉区内にある11のコミュニティ協議会それぞれとの意見交換を目的に行っているものです。当日は秋葉区役所側から羽生区長さんをはじめとする各課の課長さん等14名が、また新津中央コミュニティ協議会側からは常任委員、運営委員の28人が出席しました。
- ◆ 羽生秋葉区長さんのご挨拶、当コミ協の活動紹介の後、区役所側から①平成24年度秋葉区の主な事業②新津文化会館の建設工事③新津総合体育館の建設工事④第一小学校、第一中学校等の学校改築工事についての説明がありました。この後、意見交換に入りましたが、延べ10人の参加者から多岐にわたる質問・意見が出されるなど例年に増しての活発な懇談会となりました。
- ◆ 区役所が作成した議事録の要旨に基づき、この時の懇談会の概要を地域の皆様にご報告いたします。

●平成24年度●秋葉区地区懇談会議事録要旨

【発 言 内 容】	【回 答 内 容】
<p>(1) 防災について</p> <p>少子高齢化が進む中で、自主防災組織を立ち上げ、地域の安心安全に力を注いでいきたいと考えている。</p> <p>防災に対する行政や町内会コミ協の役割についての市の考えをお聞きたい。</p> 	<p>(副区長)</p> <p>災害対策の基本として自助、共助、公助の3つの取り組みがあり、それぞれが連携することにより、被害を最小限に食い止めることができます。市では共助として自主防災組織の結成と活動強化をお願いしています。</p> <p>中央コミ協における結成率は約42%であり、この結成率をさらに上げていきたいと考えています。自主防災組織が防災活動を効果的に行うためには、日頃から災害時における情報伝達、避難誘導、安否確認などの体制整備や訓練が重要となっています。</p> <p>市では、自主防災組織の育成と強化を目的とし、防災資材や、のぼり旗を助成しています。また、毎年の防災訓練に対し、25,000円の助成を行っています。今後とも自主防災活動に対して力添えをしていきたいと考えています。</p>
<p>(2) 災害時の情報伝達について</p> <p>災害時の地元への情報の伝達の方法などを検討してほしい。</p> <p>去年秋葉1丁目土砂災害警戒区域に指定された場所があったが、大雨の際の地元への連絡方法などを早急に検討してほしい。</p> 	<p>(副区長)</p> <p>情報の伝達については、秋葉区ではエフエム新津の告知メールというものを現在整備しています。また、広報用のパトロールカーも昨年の2台から10台に増やしました。地区での組織化されたものがあってこそうまく情報を伝達できるので、自主防災組織と一緒に考えていきたいと思っています。</p> <p>土砂災害警戒区域における情報の伝達についても、区内各課と連携取りながら対応していきたいと考えています。個々の地域に対する対応策について今後も考えていきたいと思っています。</p> <p>(区 長)</p> <p>災害対策や情報伝達についてはある程度のマニュアルは作りますが、その場その場の判断も必要になってきます。様々な場面を想定しながら考えていきたいと思っています。</p> <p>情報伝達については、現在はエフエム新津や新潟防災メールを使った情報提供をさせていただいています。また去年の災害を受け、地震発生エリアの携帯にメールでお知らせが届くようになりました。テレビを使用した被害情報の提供も行っています。</p> <p>しかし、地震などでテレビや電話が使えない状況だと、広報車や町内単位で情報を伝達せざるをえない状況も発生します。そういった場合に自主防災組織があると情報の伝達がやり易くなります。</p> <p>避難所の開設についても、地域の協力をいただかないと、時間的な問題や職員の人数の問題などが発生してきます。皆様のご協力をいただきながら、システム作りをしていきたいと考えています。</p>
<p>(3) 自主防災について</p> <p>自主防災組織を立ち上げ、毎年「体育の日」に訓練を行っている。その際に可能であれば起震車をお借りたい。</p> 	<p>(副区長)</p> <p>起震車は市の所有物ではないので、自治会単位では難しいです。コミ協単位なら可能になってくるので、後で相談をして下さい。</p>

【発言内容】	【回答内容】
<p>(4) 豪雨対策について</p> <p>秋葉の貯水池が完成し、豪雨の際の秋葉川からの被害は軽減されるだろうが、中沢川からの秋葉山を下りてくる落差のある水が恐ろしい。勢いが殺せるようなピットのようなものを作れないか検討してほしい。</p> 	<p>(下水道課長)</p> <p>地区の排水については、南部一号幹線の容量をいかに活用していくかが治水の安全度を高めることとなります。</p> <p>秋葉川については秋葉荘の跡地6,500平米のうち、約1,400平米についてはこの6月に調整池機能は完成しました。残りは公園を兼ね備えた調整池にするための整備を進めています。全て完成すれば、一定の区間においては今まで以上の容量を持つことができると考えています。</p> <p>中沢川については、今は対応していません。田家川については、秋葉湖の水を事前に抜くことで豪雨の際に2万トンの水を受けられるようにしています。市としては、50ミリの雨が降った場合でも、床上にだけはならないことを目標として対応を行っています。</p> <p>今後は本町4丁目とも流量配分ができるか検討しながら、総合的な治水対策を立てていきたいと思っています。</p>
<p>(5) 証明事務について</p> <p>大学などから町内会長や民生委員宛に就学証明や無職証明の依頼がくる。</p> <p>それは行政の仕事ではないか。断ってもいいのか。</p> 	<p>(区長)</p> <p>そういった証明を民生委員や町内会長に求めるのは違うと思います。次にまたあればどこからこういった証明を求められたのか連絡をして下さい。</p>
<p>(6) 除草について</p> <p>国道460号線を買収した際の残地の草刈りができていない。毎年町内会長が建設課に頼みに行って、お盆過ぎにしか刈ってもらえない。自主的に見回りをして対応をお願いしたい。</p> 	<p>(建設課長)</p> <p>草刈りについては毎年町内会長に言われてやっているのが現状です。計画的に草刈りを行い、遅くならないようにしていきたいと思っています。不都合な点があれば、ご連絡をいただければ対応していきます。</p>
<p>(7) 文化会館について</p> <p>文化会館を建設しているが、建設後どういうふうにするのか、何をやるのか、</p> <p>「りゅーとぴあ」とのすみわけなどについては十分検討しているのか。</p> <p>利用率を上げる努力をしてほしい。</p> 	<p>(区長)</p> <p>文化会館は席数が約500弱ですが、旧新津市から設置の要望が強かったです。「りゅーとぴあ」は千数百席という大きなホールがありますが、区の文化会館については、市民や区民の皆さんの文化活動の発表の場や一流の芸術に触れる場として考えています。</p> <p>自主事業という形で公演を計画していく予定で、今後の運営については、懇談会を開催し、ご意見を聞きながら計画を立てていきたいと思っています。</p> <p>作る際にも区民の皆様の文化的活動にこういったものがあるか、使っていただけるような催しがどの程度あるかを把握しながら進めてきました。</p>

【発言内容】	【回答内容】
<p>(8) 新津図書館について</p> <p>図書館のホールは無くなるのか。</p> 	<p>(区長)</p> <p>新しい図書館ではホールはなくなります。今の図書館については、新しいものができたら解体する予定です。</p>
<p>(9) 空き屋について①</p> <p>所有者不明の空き家について荒れ放題になっていて、防火上・環境上困っている。</p> <p>空き家条例の整備が進んでいるところもあるが、そういった方向はないのか。また、所有者不明の空き家の樹木の伐採はどうすればいいのか。</p> 	<p>(副区長)</p> <p>空き家については全市的な問題となっているので、今年度モデル地域を設定して実態調査を行う予定です。その結果について分析をしながら、対応を検討していく予定です。</p> <p>個々の立木への対応などについては、ケースバイケースで対応をさせていただいているのが現状です。</p>
<p>(10) 空き屋について②</p> <p>空き家問題については防犯・防災にも関わってくるので、いい方向へ行くように検討してほしい。</p> 	<p>(副区長)</p> <p>所有者がわかるものについては、改善をしてもらうように連絡をしています。所有者が不明なものについては、個々に相談をさせていただきたいと思っています。</p>

「史跡を訪ね歩こう」に参加してみませんか



昨年の「史跡を訪ね歩こう」の1コマ

- ・日 時 10月28日(日) 午前10時～午後4時
- ・集合場所 新津地域交流センター
- ・コース 新津駅→矢代田駅、金津堀出神社、金津城跡、白玉の滝、開基坪・石油施設、八幡山遺跡、廣大寺、古津駅→新津駅
- ・持ち物 動きやすい服装、歩きやすい靴、昼食、飲料、タオル、筆記用具、雨天の場合は雨具
- ・申込み 事前の申込みは不要(当日直接集合場所へ)
問い合わせ：新津中央コミュニティ協議会事務局
(9:30～11:30)
(0250-24-4219)

【編集後記】

コミ協だより第14号をお届けします。今回は7月に行われた地区懇談会の内容を区の担当者からの議事録要旨を基に編集しました。質疑応答の内容が、災害対策、自主防災組織、文化会館の運営、空き屋問題等を取り上げており、皆様にとっても関心の高い話題であったのではないかと考えております。9月と10月は新津中央コミュニティ協議会の活動も、新津川の除草・クリーン作戦、心地よいウォーキングを学ぼう、親子料理講習会と多彩に実施されておりますので、次号も豊富な話題でお届けできるのでないかと考えております。(広報部担当 本多 記)

(注) 新津中央コミュニティ協議会の各種事業は、主に新潟市からの補助金により賄われています。